

2002～2003

No.13

2003.6.24

# ガバナー月信

Rotary International District 2640

Governor's Monthly Letter



2002 - 2003年度RIテーマ

目次	PAGE
ガバナー・メッセージ(小島DG)	1
今年度の活動を振り返って(才門PDG)	2
ブリスベン国際大会に参加して(前窪DGE)	3
ジャパンナイト報告	5
ポリオ発生状況	5
小さな出会いからの感銘	6
2002～2003年度ライラセミナー報告	7
GSE団員募集、GSE団長	9
地区大会収支報告	10
行事報告	10
ガバナー事務所からのお知らせ	11
次期ガバナー事務所のご案内	11
出席報告 他	12

国際ロータリー第2640地区  
ガバナー 小島 哲

## ガバナー メッセージ

国際ロータリー第 2640 地区  
ガバナー 小島 哲

### 会長、幹事の皆様



最後の仕事でありました世界大会への参加も、SARSに脅かされながら、無事に終わりました。6月14日の新旧合同地区委員会がガバナーとしての最後の点鐘になりそうです。

色々な面でご協力を賜り本当に有難うございました。ガバナーの1年を大過なく過ごせたのも皆さんのおかげです。殆どの会合を泉大津で開催し、特に南紀の皆さんには大変なご不便をおかけしました。また、情報伝達の方法が大きく変わり、クラブの事務職員さん方にもご迷惑をかけました。重ねて、お詫びとご支援のお礼を申し上げます。

クラブ活動、特に、WCSでは非常に沢山のクラブが独自に実施して頂きました。その結果をクラブの会員さん達にお伝えし、喜びを共にして下さる様お願いします。

ポリオ撲滅のための寄付金につきましても、

絶大なるご協力を賜りました。2640地区は、今年度では目標を達成いたしましたが、撲滅運動はまだまだ続きます。今後ともご協力を頂かねばなりません。

社会奉仕も実に多彩な活動をして頂きました。「盲導犬に対する支援」、「心身障害者をプールにお呼びする」、「街の1画をきれいにして花壇をつくる」、「コンクリート塀に中学の美術部の生徒に絵を描かせる」、「献血運動」、「赤ちゃんに本を読んであげましようのブック・スタート運動」等々枚挙に暇がありません。公式訪問時での会長・幹事懇談会のお話が楽しみでありました。

気になりますのは、やはり「会員数の減少」であります。今年度は「退会防止」に力を入れて来たつもりでしたが、これには「歯止め」がかからず、新入会員がかなりおられるにもかかわらず退会者が多く、来年度のスタートの人数が心配です。

泉大津のガバナー事務所は7月末で閉鎖致します。ガバナー事務所の事務職員の内何名かは永井エレクトの事務所に又ご厄介になるそうです。宜しくお願いします。

末筆になりましたが、ロータリー100周年に向けて、貴クラブのますますのご発展をお祈りしております。

### 飯沼剛パストガバナーを偲んで

2003年5月30日ご逝去されました 飯沼 剛 パストガバナーのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

ガバナーおよび各パストガバナーより寄せられた追悼文を「月信特別号」として、後日配信いたします。

## 今年度の活動を振り返って

国際ロータリー第 2640 地区  
P D G 才門 三郎



今年度のハイライトの地区大会も盛大に開催され無事に終了しました。永く感じて、振り返ればこの1年は一瞬の間、無我夢中で走り続けて、もう前窪年度にバトンタッチですね。小島ガバナーを始め、クラブ会長、幹事、地区役員、委員、会員の皆様、まことにご苦労様でございました。

今年度小島ガバナーは地区運営について思いきった改革を実行されました。その結果は次年度に反映されてくるわけですが、コロンブスの卵の喩えのように、決断して実行されたことは素晴らしく心から敬意を表する次第であります。特に地区協、公式訪問、月信等、顕著な改革をされました。また、小島ガバナーが大阪金剛ロータリークラブを提唱クラブなしで拡大されましたことは真に喜ばしいことでもあります。そして念願の地区史も編纂委員会の惜しまぬご努力により、この年度に発刊されましたことは嬉しい限りであり、関係された委員皆様に対して厚く感謝を申し上げる次第であります。

また、我が地区が一昨年度より試行のリーダーシッププランもガバナー補佐諸兄のご協力により殆んど軌道に乗ってまいりました。ポールハリスは語録の中で「時代の変化と共にロー

タリーも変化する心構えが必要である」ことを強調しておられる通り、前例より前進がいかに大切であるかを、ロータリアンは絶えず、心せねばならぬと思います。

最近の世相とは言え、区内のある会員がフォーラムにおいて自分自身が当事者であることを忘れ、評論家になって善良な会員を揶揄する如き発言があり、話題になりましたが、まことに残念で複雑な思いが致しました。また、IMの事前会議における意見交換の中で月信、ロータリーの友が会員にいかにも読まれていないかの現実を知り、次年度これら課題の反省が我が地区にとって非常に大切であるということが強く印象に残りました。

経済社会の不況等による会員減少は時代の流れだと思いますが、特にラタクルRI会長が強調されておられる「質の向上」の必要性を痛切に感じ、時間を必要としても、このことが会員増強その他すべてに繋がり、良き結果を与える最良の道だと信じるものであります。

小島ガバナーのアドレスのなかで「ドイツへ留学した財団奨学生、聾者の人の体験談」は多くの会員の心に感動を与えるものでありました。歴代の年度では、会員活動の中でそれぞれに熱き感動の思い出がありますが、このことを会員の心に訴える、そのことの積み重ねが、次代のロータリー活動に反映されてゆくものと信じます。

ノミニー、エレクト、ガバナーとして2年余に亘る小島丸が航海を終えて無事に接岸されましたことは、我が地区にとりまことに有り難く、これまでのご労苦に対し、心からのねぎらいの言葉と感謝を捧げたいと思います。

(ポールはリス語録)の中での一文です

ロータリーとは何ですか？ ロータリーとは一体何でしょうか？ 多くの国のロータリアンがこぞって答えます。しかし、同じ答えは一つもありません。共通点は一つもないのでしょうか？あります。それはオルガンの低い雑音のようなものです。遠くで浜辺に砕ける波の音のようなものです。ロータリーの多種多様な活動の下に、変わらぬ基調があります。善意、善意、善意、という基調です。私は人類間、国家間の善意の耐えざる推進を希望します。これ以上高い希望を私はもっていませんし、知りもしません。

## ブリスベーン国際大会に参加して

### 国際ロータリー第 2640 地区 D G E 前窪 貫志

サンシャインシティと呼ばれるブリスベーンにしては、珍しく雨模様の日が続いたことは歓迎されたのか？ そうじゃないのかと判断に迷いました。いわく、観光とゴルフ等にはすこぶる迷惑そのものの、国際大会と ツアーは、S A R S とお天気に大きく影響を受けたことは歴然としています。

S A R S の関係で返金する登録料はあったように聞きました。その中で得た情報では約 15,500 名の登録で、第 1 位がオーストラリアで 5,056 名、第 2 位はアメリカの 4,252 名、第 3 位は数字がずっと下がって、1,556 名の日本となっているようです。

公式国際大会の行事は 5 月 29 日(木)の青少年交換役員会議歓迎レセプションと国際研究会歓迎レセプションより始まりました。私は国際研究会レセプションの方に出席、そこでは 2002～2003 年度の R I 役員が殆ど出席しているようでした(要チケット\$20)。

5 月 30 日(金)は朝 9 時 15 分より国際研究会が始まり、「現在のロータリーは時世にあっているかどうか」で、3 名づつのパネラーが壇上にて、あっている、あっていない、のディベートを展開して、なかなか興味を持てる進め方がありました(同時通訳ありました)。多分詳しくは R I のホームページに出ると思います。検索

して下さい。

昼食会(要チケット\$20)の後に日本語のセッションに出席……。なかで色々な発言がありましたが 101 年目からのロータリーも話題になり、我が意を得たりの感がありました(当地区では地区の方針の中にあります故)。日本語のセッションは、本年度より採用されたようです。多分板橋、菅生両理事が努力なさったのでしょう。一番気になったのは、このようなプログラムが日本から参加している全員が知っていたかどうか。プログラムがもっと早く手に入っていると日本からの参加がもっとあったと考えられます。R I 理事、R I パスト理事、ガバナー、パストガバナー、ガバナーエレクトの範囲ぐらいの気がしました。この日は会場の広さからいってもさまにはなっていました。

5 月 31 日(土)は朝の研究会にて次年度 R I 会長予定者のジョナサン B. マジアベの話聞き、その話題についてフロアーからの激励の言葉、質問等が出て活発に進行しました。いわく、貧困の問題、識字率の問題、ポリオを中心とする健康の問題、ロータリーファミリーの問題と幅広く出ました。午後は本会議場に行き、まず信任状の査証を申請し、投票代議員の資格を頂いて来ました(預かっていった 72 クラブ分)。

夜は恒例のジャパンナイトがアランデルのゴルフクラブのホールにて盛大に開催されました。現地タスマニアの現ガバナー夫妻を招待し内容も非常に充実、エンターテイメントもアポリジーニのダンスと音楽を堪能、SARSの関係で参加者はかなり減少しましたが、泉大津ロータリークラブの皆様のご努力で内容の濃い会合になりました。感謝・・・。



6月1日、いよいよ開会式の当日、本会議は会場の関係で3回に分けられました。第1回目は13時～15時、第2回は16時30分～18時30分、第3回は20時～22時。

朝9時～10時30分迄は日本朝食会が会場 Plaza Terrace Roomにて、ラタクルRI会長、マジアベ次期RI会長、各理事・役員が出席のもと開かれました。広いテラスルームが一杯になる人員が出席にて、その席に於いて、2004年5月の大阪世界大会のPRを千委員長がやり、スタッフの紹介がなされました。ビチャイRI会長のウィットにとんだ挨拶はいつも流石の感じで聞かされました。マジアベ次期RI会長はアデ夫人の病気については一切ふれずじまいでした。

いよいよ大会開会の時間になりました。恒例の参加各国の紹介が始まりました。いきなり馬に乗って人が舞台上が上がって来たのは驚きでした。牧畜の国、オーストラリアらしいとも感じました。広い通路の意味が解った一瞬でもあ

りました。何時参加しても紹介が長いと感じるはずが、あまり思わないような演出は流石でした。160何ヶ国の紹介が済み、開催地ブリスベーン的首長がビデオにて挨拶、日本のように代読よりはましかと思いました。ここで真打ちの登場、本日の主役ビチャイラタクルRI会長は相変わらず人をひきつける話をしました。これはウェブサイトでご覧下さい。後は音楽で楽しんでRI会長の挨拶だけが印象に残るような最高の演出でしょう。これが、3回あったわけです。会場が狭いのも大変・・・。大阪ドームで本年の参加者の数ですと、これも少なすぎたの感があるかも・・・。

2日目の日本語のセッションは当2640地区の中島治一郎パストガバナーが議長となり、パネリストはRI理事ノミニーの南国義一ロータリー財団地域コーディネーター、同じくRI理事エレクトの田中作治ロータリー平和地域コーディネーター、同じくパネリストにスティーブk.ヨシダ四大奉仕部門委員会委員(米国アラスカ、ホームカチェマック・ベイ・ロータリークラブ)で、ロータリーの四大奉仕部門の原点について、議論がなされました。ヨシダ氏の話でロシアのロータリーの情報があり、現在、ロシアは36のロータリークラブがあり、かなりの勢いで増える感じでした。参加者30～40名の間でした。

3日目の日本語セッションは1,000名ぐらい入る会場に30名ほどの参加でした。主催者側の皮肉かと思いました。議長の愛知の豊島徳三ガバナーエレクトは欠席で、京都の小谷三RI理事が代りに議長をやり、パネリストに岩井敏世界社会奉仕委員、重田政信識字率向上委員、渡辺好政100周年記念運営委員でした。折角素晴らしい企画で内容豊富な会議なのに非常にもったいない気がしました。原因を私なりに考えましたが、まずPR不足、大会プログラムが事前に手に入らなかったことが大きな原因でしょう。

4日目の閉会式で一番印象に残ったのは、やはりピチャイラタクル会長の話でした。皆様のお陰で無事 RI 会長を終えられそうです。7月からは母国(タイ)トンプリロータリークラブ

の一会員として、ホームクラブの役につけるように、次年度のクラブ会長にお願いするそうです。これでこそロータリー。よりロータリーが好きになりそうです。

## ジャパンナイト報告

### 国際ロータリー第 2640 地区

オンツープリスベン委員長 糸井 徹



2640 地区恒例のジャパンナイトは開会式前日の 5 月 31 日(土)P.M6:00 よりゴールドコー

ストに近いアランデルヒルズカントリークラブにて、小島 哲ガバナー夫婦、前窪 貫志ガバナーエレクト夫婦そしてタスマニアより Mr. & Mrs. Sydes ガバナーも出席され総勢 83 名で、なごやかに親睦がはかられました。

今年度は世界状況の問題もあり、第 2640 地区からは 130 名程のご登録がありましたが、実際の出席者数は 110 名程になってしまいました。

### ジャパンナイト出席者数 81 名

有田	2 名	岸和田東	8 名
有田 2000	2 名	岸和田北	2 名
橋本紀ノ川	10 名	堺おおいずみ	15 名
泉大津	19 名	泉南	2 名
関西国際空港	1 名	和歌山南	15 名
岸和田	3 名		

### ポリオ発生状況 (2005年ポリオフリー宣言!)

(単位:人)

#### ポリオ発生報告、1999-2003年 (2003年6月19日現在)

	1999	2000	2001	2002	2003				
					2/18	3/18	4/25	5/23	6/19
アフリカ地域 (AFRO)	246	160	69	197	0	6	14	26	45
南北アメリカ (AMRO)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東地中海地域 (EMRO)	479	287	143	119	2	7	18	24	38
ヨーロッパ地域 (EURO)	0	0	3	0	0	0	0	0	0
東南アジア地域 (SEARO)	1161	272	268	1562	1	55	68	77	82
西太平洋地域 (WPRO)	1	0	0	0	0	0	0	0	0
Global Total	1887	719	483	1878	3	68	100	127	165

(月日は集計日)

## 小さな出会いからの感銘

2003 年度米山奨学生 肖 紅岩  
(高野山大学大学院修士課程 2 年)

2003 年 6 月 1 日(日)、真夏のようなカンカン照りの大阪とは対照的に、朝から冷たい小雨と濃い霧に覆われた高野山は、仏都霊山らしい荘厳さで 2003 年度の 2640 地区のインターアクト新入生歓迎会を迎えました。

私は 2003 年度新規ロータリー米山奨学生として、この大会に参加させていただくことになりました。私が高野山大学で勉強しているというただそれだけの理由で、委員長の河合先生から暖かいご招待を賜りましたことに、感謝の気持ちで一杯です。その有り難いご縁のおかげで、此度たくさんの素敵な方々にお会いし、また、素晴らしいお話とご講演を聞かせていただくことができました。本日お聞きしましたお話に、私は心より感動を覚えました。率直にこの胸一杯に詰まっている今の気持ちをお伝えしたいと思い、ペンをとった次第です。

まず印象に残ったのが私のカウンセラーをしてくださる楠先生のとてユニークなお話です。亀とウサギが競争するというよく知られた古いお話ですが、世界中にいろんな解釈があるということを教えていただき、本当に驚きました。従来中国や日本では、ウサギの油断で亀が勝ったという解釈でした。それに対して、ペルシャでは亀が自分とそっくりの仲間をゴール地点に隠れさせていて、ウサギの油断に乗じて勝ったと考えるようです。また、インドでは、寝ていたウサギを追い越した亀の行為は、むしろ思いやりがたらないものとしてあまり賞賛されないそうです。ウサギがただ眠っていたのではなく病気だったら大変だというわけです。

これはなかなか面白い話だと思いました。同じ事を違う視点から見るとそれぞれ違った結論が出るわけです。それをロータリーの場合に

あてはめると、ロータリーには各分野の職業人が集まっています。職業倫理の異なる専門家がそれぞれ違った視点から取り組んでいるおかげで、この組織は世界を舞台に多彩で豊かな活動を展開できるのだと思います。

次はインターアクト委員長の橋本先生のお話です。これもまたとても意味深くて感銘を受けました。それは、ご馳走を山盛りにした部屋に長いお箸を一膳置いておくと、それを人がどう使うかによって、食べ方が天国と地獄ほど違ったものになるというものです。一つの部屋では、同じお箸を両側から使う二人の人がお互いに協力するので、両方とも食べられます。それは天国。もう一つの部屋では、二人とも自分が先に食物を口に入れようと争って、食物をぼろぼろこぼすばかりで、結局どちらも食べられない。完全に地獄の部屋になったというわけです。

このお話から、協力という事がいかに大切かを見事に明らかにしています。私達個人個人がこのお話を教訓にし、世界中のロータリーに協力していくことがいかに大切なことであるか、また将来的にロータリーという組織の成否はそうした個人の協力にかかっているのではないかと強く感じました。先生のお話は私達に深い人生的啓示を与えてくださったものであると考えております。

最後に最も心打たれたのは、高野山高校の添田校長先生の「祈りの力」という講演です。先生が斬新で豊富な資料を用いて、宗教家特有の穏やかな口調でユーモアたっぷりにお話され、私達の前に摩訶不思議な世界を展開してくださいました。それは「水」の世界に関するお話でした。顕微鏡で覗いた「凍った水の結晶」の世界についてです。同じ水を違う瓶に入れ、一方に

は感謝の祈りを捧げ、もう一方には汚い罵りの言葉を加えます。また、その言葉をラベルに書いてそれぞれの瓶に貼っておきます。それを毎日続けてやって一ヶ月たったら、両方の瓶の水を凍らせます。そうすると凍った水の結晶は顕微鏡の下で驚くほど違った花紋の結晶になっている。前者は綺麗な六角形の結晶花紋、後者は全然形にならないボヤーとした模様になりました。先生が見せてくださった結晶の絵を見てまったく信じられない気持ちでした。ここから「水」には言葉を聴き分ける力があるし、字を読める力もある。そこに命が宿っている、ということが証明されているわけです。

私達人間の体は70パーセントが水だそうです。祈りの力によって、人間をはじめとするすべての命に対する影響はどれほど大きいことでしょうか。さらに先生が見せてくださったのは、ご飯の写真です。同じご飯を入れた二つの瓶に前と同じように祈りと罵りの言葉をそれぞれ

にかけるのです。そして一ヶ月経つと、その中のご飯は、前者はピンク色に、後者は黒色にと、信じられないほど違ってくるのです。水だけではなく、食べ物でも同じ道理だと教えられました。他に汚いダムの水を例に挙げ、水面は同じように見えても、結晶を見ると祈った後の結晶の様子は全然違って綺麗でした。

祈りという普段ならよほどの事態に面しないかぎりこころにとめない行為が、実は私たちにとって非常に大切な存在になっているのだということに気がつきました。

私は、私達人間と、そして回りのすべての支えてくれる有情、無情に全宇宙の共存空間がいつまでも綺麗で美しく平和的であるように、お祈りいたします。このお祈りの力によって、きっとわれわれの世界はますます私達が心に抱く理想的な仏国土に近づいてゆくと信じております。

## 2002～2003年度ライラセミナー報告

### 国際ロータリー第2640地区 青少年ライラ活動委員会 地区委員 松尾 孝人

2002～2003年度RYLA(青少年指導者養成プログラム)セミナーをIM4組ライラキーマンのホストで、5月3日～5月5日に大阪府泉南郡岬町の淡輪ヨットハーバーに隣接する“大阪府立青少年海洋センター”にて、快晴のもと実施致しました。

2001年度から、メインテーマとして挙げております「未来を見つめ、今ある自分を確かめよう」、そして今回は「夢を語ろう」をサブテーマに挙げ、研修生95名、ロータリアン113名という多数のご参加を頂き開催致しました。

初日の開講式には、小島哲ガバナー・前窪貫志ガバナーエレクト・瀬戸新一パストガバナー

・亀岡弘パストガバナー・高寺壽地区代表幹事のご出席を頂き、本セミナーをスタート致しました。

サブテーマ討論会では、本年度のサブテーマである「夢を語ろう」に沿って、小島ガバナー・前窪ガバナーエレクト・瀬戸パストガバナー・亀岡パストガバナーにもご参加を頂き、“過去にはこの様な夢を持っていた。”また、“現在はこのような夢を持っている。”という夢(目標)設定のポイントを、“何が得たいのか、明確に具体的に肯定的に決める。”、そしてその夢を現実の物とする為に、達成期日を明確に決め、また、大きな夢は、細分化し、それに優先順位を付け、



達成した時にどのような心の体験が出来るのか、ビジュアルに捕らえていくなど、研修生と共に熱く語って頂きました。

その後、研修生には 10 班に分かれて頂き、サブテーマについてグループ討論会という型で、各班ごとに一人一人の夢を発表し合い、その中で夢を追っていく時の、現実的な目の前の問題や障害を明確にし、どうすればそれらを打ち破っていけるのかなど、更に深く語り合っていたことが印象的でした。

2 日目は、早朝より海洋センター周辺の野外清掃活動を行い、清々しい気持ちで海のプログラムであるカッターにチャレンジし、レースなどを楽しんだ。また、午後からは、昼のプログラム(講演会)ということで、講師にアナウンサー松本佳代子先生の「声に乗せて自分を相手に届ける。そして、より美しく、正しく、解りやすく、心を添えて」のテーマで正しい日本語の使い方など具体例をあげて、本当に解りやすくお話をして頂きました。そして夕刻には、第 2660 地区との合同バーベキューで交流を深め、キャンプファイヤーでは総勢 300 名以上の青少年とロータリアンが親睦と奉仕について大いに語り合いました。

その後、グループ討論の結果発表を行いました。発表方法なども工夫され、発表内容は各班とも非常に内容の濃いもので、研修生たちは熱心に各班の発表に聞き入っていました。

3 日目最終日には、各自感謝の気持ちを持って、部屋及び研修会場の清掃を行い、全体会議

(1 分間スピーチ)に臨んだ。各研修生一人一人の 3 日間の総まとめの発表であり、開講時の緊張した表情とは違い、自信に満ち溢れた表情でのそれぞれの発表に声のトーンもアップし、松本先生の「声に乗せて自分を相手に届ける」という教えを十分に実践できたものとスタッフ一同確信致しました。



また、「人前で自分の意見を発表出来る人間づくり」を研修目標に挙げておりましたが、その目標も十分に達成できたと思われる感動の発表でした。

本年度のライラセミナーも、研修生だけでなく我々ロータリアンも多くを学び、気付かされるなど、大きな成果が得られたセミナーであったと思います。

最後になりましたが、本セミナー開催に際し、お世話頂きました、海洋センターのスタッフの皆様と、IM4 組のライラキーマン、そしてご参加頂きましたロータリアンの皆様方に心より感謝を申し上げまして報告と致します。

## GSE 団員の募集

### 財団研究グループ交換 ( Group Study Exchange ) 派遣団員募集

このプログラムは、専門職務に携わる若い男女のチームが、海外の国のチームと訪問の交換をするものです。

このチームメンバーに選ばれた方は、その国で4週間滞在し、自分の国の文化や知識を伝え、かつ相手国の文化、習慣、職業などを体験します。

この GSE チームは、ロータリアン以外のチームメンバー4名と1人のロータリアンを

団長として構成され、人々との交流を通じて国際理解を深め、民間の親善大使としての役割も果たします。特色は他の海外旅行や留学と異なり、ロータリアンの自宅にホームステイして、同じ専門職に携わる人々に会う機会や、職業研修のチャンスを得ます。また訪問先ロータリークラブのプレゼンテーションでは、日本の紹介を行い、親善をはかります。

1. 交換相手国：ブラジル 第 4640 地区
2. 実施予定日：2004 年 3 月中旬から約 1 ヶ月
3. 募集人員：団員 4 名 (25 才から 40 歳までの職業人  
国際ロータリー第 2640 地区に居住或いは勤務しているもので、同じ職種に 2 年以上勤めている者。ただし、ロータリアンの子、孫は応募できません。
4. 参加申込書：ガバナー事務所までご請求下さい。  
(参加費用はかかりません。小遣い程度です。)

尚、ご質問等がありましたら、ガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

## 〈 G S E 団 長 〉



### 坂本 順一 (和歌山ロータリークラブ)

職業分類 専修学校  
現住所 〒640-8392 和歌山県和歌山市中之島 1160 番地  
電話・FAX 073-422-5868  
勤務先 学校法人 東海学園理事長 和歌山日本語学校  
〒640-8034 和歌山県和歌山市駿河町 21 番地  
TEL 073-432-8699 FAX 073-431-2720  
E-Mail [waka1991@jtw.zaq.ne.jp](mailto:waka1991@jtw.zaq.ne.jp)

#### (ロータリー歴)

1988 年 3 月 和歌山ロータリークラブ入会  
1997 ~ 1998 年 クラブ理事  
1999 ~ 2000 年 クラブ理事  
1998 ~ 2001 年 地区財団奨学金委員  
2001 ~ 2002 年 地区 GSE 委員  
2002 ~ 2003 年 地区財団奨学金委員

## 地区大会収支報告

2003年5月末現在の地区大会収支報告を、下表のとおりご報告いたします。なお、残金は次年度地区大会経費として繰り越す予定です。

### 地区大会決算書(2003年5月末現在)

収入		支出	
地区大会分担金	31,187,000	4月26日	
晩餐会登録料	3,680,000	飲食費	40,250
ご家族登録料	70,000	部門会議	504,126
プロバスクラブ登録料	10,000	晩餐会	9,006,731
来賓お祝い金	1,565,000		
<b>合計</b>	<b>36,512,000</b>	4月27日	
		本大会会場・設営費	7,423,626
		飲食費(昼食)	4,447,865
		控室等会場代	55,440
		友愛の広場	56,175
		大懇親会	3,126,910
		エクスカーション	278,800
		お茶・ドリンクコーナー	1,000,135
		謝礼他	1,603,931
		4クラブ合同会議	1,230,544
		会議費	373,852
		来賓宿泊費・接待費	1,775,466
		記録関係	1,003,808
		印刷費	814,380
		記念品代	933,950
		事務局管理費	788,533
		記念ゴルフ大会運営費	135,490
		予備費	*
		<b>合計</b>	<b>34,600,012</b>
		未確定分	1,911,988

### 行事報告(2003年5月21日~6月22日)

#### 堺南西RC10周年行事

2003年5月22日(木)、ホテルサンルート堺

#### 米山新規学生オリエンテーション

2003年5月24日(土)、テクスピア大阪

#### 第2640地区ジャパンナイト

2003年5月31日(土) オーストラリア  
アルンデルヒルズカントリークラブ

#### IAC新入生歓迎会

2003年6月1日(日)、高野山高校

#### ブリスベン国際大会

2003年6月1日(日)~4日(木)、ブリスベン

#### 泉大津ローターアクト25周年行事

2003年6月8日(日)、アルザ泉大津

#### 次期ガバナー補佐連絡会

2003年6月14日(土)、テクスピア大阪

#### 新旧合同地区委員会

2003年6月14日(土)、テクスピア大阪

#### 最終諮問委員会

2003年6月14日(土)、アルザ泉大津

#### 財団オリエンテーション

2003年6月21日(土)、JA和歌山

#### ローターアクト地区大会

2003年6月21日(土)~22日(日)

ビッグアイ(泉ヶ丘駅前)

## ガバナー事務所からのお知らせ

### 2002～2003年度ガバナー事務所閉鎖予定

- ・2003年6月30日(月)まで、ガバナー事務所として、通常業務を行います。
- ・残務整理のため、2003年7月28日(月)まで、業務を行います。

- ・2003年7月29日(火)以降は、下記まで連絡をお願いします。

[skojima@gold.ocn.ne.jp](mailto:skojima@gold.ocn.ne.jp) (小島)

[takadera734@ioctv.zaq.ne.jp](mailto:takadera734@ioctv.zaq.ne.jp) (高寺)

### 2002～2003年度ガバナー事務所

所在地 〒595-0062  
大阪府泉大津市田中町 10-7  
泉大津商工会議所会館 1F (南海本線泉大津駅下車海側徒歩2分)

電話 0725-23-7264  
FAX 0725-23-9264  
E-Mail [kojima-s@eagle.ocn.ne.jp](mailto:kojima-s@eagle.ocn.ne.jp)

勤務時間 月～金 10:00～17:00 (土・日・祝は休ませて頂きます。)

事務職員 椎野 やよい(旧姓:阪口)・樽井 真理子

### 次期ガバナー事務所(2003～2004年度ガバナー事務所)のご案内

所在地 〒640-8215  
和歌山市橋丁23  
サイバーリンクス N-4ビル 2F

電話 073-428-2640  
FAX 073-428-2643  
E-mail [info@rid2640d.jp](mailto:info@rid2640d.jp)  
HPアドレス <http://www.rid2640g.org/>  
勤務時間 9:30～17:30 (土、日、祝日は休み)

ガバナー・エレクト  
前窪 貫志

スタッフ  
次期代表幹事 前田 耕道  
事務職員 平田 有紀子  
" 山本 千恵子

2003年7月1日(火)より、ガバナー事務所となります。



第2640地区のホームページ

<http://www.rid2640g.org/>

## 第2640地区 出席報告(2003年5月)

クラブ名	02.7.1 会員数	今月末 会員数	内 女性	入会		退会		例 会 数	5月 出席率	平均 出席率	クラブ名	02.7.1 会員数	今月末 会員数	内 女性	入会		退会		例 会 数	5月 出席率	平均 出席率
				5月	累計	5月	累計								5月	累計	5月	累計			
有田	51	50	0	0	2	0	3	4	88.83	90.80	りんくう泉佐野	38	34	1	0	0	4	4	84.39	82.32	
有田南	46	45	0	0	0	0	1	4	86.85	92.93	堺	93	90	10	1	6	1	9	4	92.69	94.14
有田2000	26	25	2	0	0	0	1	4	81.00	84.24	堺フェニックス	40	34	8	0	0	0	6	5	72.00	82.41
藤井寺	21	20	3	0	2	0	3	4	84.30	81.58	堺東	42	40	1	0	0	0	2	3	96.08	96.45
藤井寺しゆら	19	19	0	0	0	0	0	5	84.44	89.84	堺北西	27	27	1	0	0	0	0	4	75.95	85.27
御坊	69	69	4	0	3	0	3	4	90.57	90.70	堺泉ヶ丘	30	26	0	0	0	1	4	4	91.34	87.14
御坊東	25	25	0	0	1	0	1	4	83.00	79.20	堺北	43	44	0	0	1	0	0	4	84.66	87.08
御坊南	46	46	1	0	2	0	2	3	86.67	85.08	堺南	44	45	4	0	3	0	2	3	84.21	87.33
羽曳野	34	34	0	0	3	0	3	4	99.23	94.56	堺中	42	43	0	1	1	0	0	4	76.22	75.67
羽衣	27	25	4	0	0	0	2	4	83.00	83.29	堺南西	17	16	0	0	0	0	1	5	75.00	75.84
阪南	30	30	2	0	0	0	0	4	87.50	84.77	堺西	32	30	1	0	0	0	2	5	80.00	86.92
橋本	51	50	0	1	3	0	4	4	89.77	88.88	堺おおいずみ	36	37	6	1	2	0	1	4	90.91	91.35
橋本紀ノ川	22	22	1	0	0	0	0	4	96.59	91.94	堺清陵	29	30	3	0	1	0	0	4	90.39	92.40
岩出	42	40	0	0	0	0	2	4	87.18	90.54	堺泉北	36	32	1	0	0	0	4	4	78.18	80.35
和泉	46	46	2	0	1	0	1	4	92.86	92.74	堺東南	19	19	0	0	3	0	3	5	90.38	90.34
和泉南	46	42	0	0	1	0	5	4	62.50	58.87	泉南	28	29	3	0	3	0	2	4	81.52	81.88
泉大津	56	56	1	0	1	0	1	4	84.55	85.13	新宮	65	66	0	0	3	0	2	4	90.53	90.08
泉佐野	50	48	3	1	2	0	4	4	80.00	86.68	白浜	30	25	0	0	2	0	7	4	88.05	93.51
海南	65	64	1	0	1	0	2	4	87.72	90.73	忠岡	21	19	1	0	0	0	2	5	71.05	68.57
海南東	71	71	2	0	2	1	2	3	82.61	86.87	太子	11	9	0	0	0	0	2	4	63.88	60.44
海南西	34	34	0	0	1	0	1	5	80.00	83.73	高石	44	42	1	0	1	0	3	4	76.38	76.21
貝塚	39	33	2	0	0	0	6	4	91.13	93.53	高師浜	33	30	0	1	1	0	4	4	85.00	85.87
貝塚コスモス	33	33	3	0	5	1	5	4	100.00	87.78	田辺	87	92	2	0	5	0	0	4	88.13	90.71
関西国際空港	45	42	2	0	0	0	3	4	71.15	71.77	田辺はまゆう	28	27	4	0	4	0	5	4	80.56	84.50
河内長野	37	33	3	0	0	0	4	4	93.30	92.50	田辺東	58	56	2	0	3	0	5	4	93.98	89.89
河内長野東	34	32	0	0	1	0	3	4	91.35	91.80	富田林	38	37	1	0	0	0	1	4	88.46	91.92
岸和田	79	74	0	0	3	0	8	4	87.12	86.51	富田林南	32	32	1	0	1	0	1	4	73.15	83.57
岸和田東	67	64	11	2	3	0	6	4	95.71	92.76	打田	15	17	3	0	2	0	0	5	83.53	89.82
岸和田北	47	44	0	0	1	0	4	4	88.95	91.98	和歌山	71	75	0	1	9	0	5	3	94.62	90.79
岸和田南	35	34	2	0	1	1	2	4	85.71	88.60	和歌山アゼリア	38	50	19	0	16	0	4	3	80.80	78.38
粉河	44	43	1	0	1	0	2	4	79.87	81.83	和歌山東	64	65	0	0	5	0	4	4	98.60	98.50
高野山	31	30	0	1	1	0	2	5	99.20	91.15	和歌山城南	51	51	1	0	2	0	2	4	91.50	89.83
串本	18	17	1	0	0	0	1	3	72.54	60.99	和歌山北	72	71	1	1	5	0	6	3	82.40	83.67
松原	54	54	0	0	2	0	2	3	85.53	85.91	和歌山南	98	98	1	1	6	1	6	4	81.17	83.84
松原中	33	31	0	0	1	0	3	4	82.50	84.47	和歌山中	46	44	0	0	1	1	3	4	91.03	86.32
美原	30	29	0	0	1	0	2	4	88.79	90.73	和歌山西	39	37	1	0	2	0	4	4	93.62	92.32
那智勝浦	23	25	2	0	3	0	1	5	68.88	73.52	和歌山東南	49	46	5	0	2	0	5	4	73.75	78.86
大阪狭山	6	6	0	0	0	0	0	5	80.00	87.42	大阪金剛	0	25	4	0	29	4	4	4	69.90	72.90

クラブ	7月1日クラブ会員数		5月末クラブ会員数	
	男性	女性	男性	女性
76	2987	131	2936	139
	3118		3075	

5月平均 出席率	84.80
-------------	-------

入会		退会	
5月	累計	5月	累計
12	167	11	210

## 新入会員紹介

氏名	所属クラブ	職業分類	生年月日
坂口 卓	橋本	高等学校	昭和16年12月13日
浜田 紀彦	泉佐野	植物油製造	昭和15年1月29日
安富 昭人	岸和田東	証券業	昭和36年8月23日
本郷 元子	岸和田東	環境教育	昭和16年6月14日
近藤 本淳	高野山	仏教	昭和37年2月20日
井上 哲夫	堺	ガス供給	昭和20年11月22日
田中 善次郎	堺中	日用雑貨組合業	昭和22年1月11日
木久 和則	堺おおいずみ	経営相談	昭和10年12月17日
高橋 幹雄	高師浜	土地家屋調査士	昭和11年2月13日
大森 勝	和歌山	証券業	昭和35年7月24日
龍田 潤三	和歌山北	運送業	昭和14年9月19日
鈴木 敬吾	和歌山南	新聞発行	昭和32年6月9日

(3月入会)

田辺 毅一	那智勝浦	ホテル	昭和17年10月24日
-------	------	-----	-------------

(4月入会)

仲本 剛	岸和田東	私立病院	昭和27年12月19日
川西 得雄	松原	老人ホーム	昭和23年8月6日

## ポール・ハリス・フェロー

	氏名	所属クラブ		氏名	所属クラブ	
	2003年5月	奥野 道美	岸和田南		関 制洋	那智勝浦
河合 實		岸和田南		田畑 寛次	堺南西	
貴多野 泰夫		岸和田南		足助 重賢	白浜	①
永野 三郎		岸和田南		井谷 功	和歌山東南	②
西村 滋二		岸和田南		神谷 尚孝	和歌山東南	③
西村 博治		岸和田南				
藤原 周祐		岸和田南				

○数字はマルチプルの回数  
BEはベネファクター

## 米山功労者

	氏名	所属クラブ	回数	氏名	所属クラブ	回数
	2003年5月	南 知孝	堺泉ヶ丘		岡村 博行	堺泉ヶ丘
	中井 文与茂	堺泉ヶ丘				

## 訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



**奥村 秀一** (和泉RC)  
平成15年4月6日逝去(享年55歳)  
在籍期間14年  
職業分類 私立病院  
準米山功労者  
生年月日 昭和23年1月18日



**潮田 豊治** (堺RC)  
平成15年5月26日逝去(享年87歳)  
在籍期間23年5ヶ月  
職業分類 アルミ製品製造  
ポールハリスフェロー  
生年月日 大正4年11月28日



**飯沼 剛** (堺RC)  
平成15年5月30日逝去(享年88歳)  
在籍期間44年  
名誉会員  
職業分類 眼科医  
マルチプルポールハリスフェロー16回  
ベネファクター 5回  
米山功労者 9回  
生年月日 大正3年11月17日



**西本 正一** (松原RC)  
平成15年6月6日逝去(享年91歳)  
在籍期間38年9ヶ月  
職業分類 内科医  
ポールハリスフェロー  
米山功労者  
生年月日 大正2年1月2日



**亀崎 忠夫** (堺RC)  
平成15年6月11日逝去(享年80歳)  
在籍期間8年4ヶ月(内 阪南RC在籍期間6年2ヶ月)  
職業分類 絵画(洋画)  
ポールハリスフェロー  
準米山功労者  
生年月日 大正12年4月6日

## 元国際役員の方の訃報

- ・ 第2640地区パストガバナー(1980~81年度) 飯沼 剛 様(堺RC)  
5月30日、ご逝去されました。(享年88歳)
- ・ 第2680地区パストガバナー(1985~86年度) 金子 太郎 様(神戸東RC)  
6月6日、ご逝去されました。(享年92歳)
- ・ 第2550地区パストガバナー(1977~78年度) 瓜生 英二 様(足利RC)  
6月12日、ご逝去されました。(享年92歳)
- ・ 第2670地区パストガバナー(1989~90年度) 橋本 憲佳 様(高知RC)  
6月23日、ご逝去されました。(享年81歳)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。